



No.36自在錐とNo.36X充電ドリル用自在錐バーは、互換性があるの？ないの？



自在錐のバーの長さ、太さは同じです。

ですが、よく見てください。メモリを真正面に向けたときにそれぞれ作りが違いますね。違いが分かりますか？



太さは
どちらも
8mm



No.36自在錐用バー



No.36X充電ドリル用自在錐用バー

すぐにお分かりになられたと思いますが、バーの止めネジの位置が違います。互換性がないのは一目瞭然。

No.36自在錐は、バー六角の角に、充電ドリル用自在錐は、バーの平面に止めネジ位置を加工しております。

これは、それぞれ専用のバーにするためです。

充電ドリル用自在錐は、インパクトドライバで使用できるためバーの長さも120mmのみになっています。

間違っって違うバーを取り付けて使用できないようになっています。

そうすることで、皆様に安全に使っていただけるように考慮しております。

バーの取り付け方が違うので、バー止めネジも少し違います。



No.36自在錐は、8mm×8mmです。



36-OP2

No.36X充電ドリル用自在錐は、8mm×12mmナット付です。



36X-OP2

長さも少し違いますし、ネジ底も違います。



お間違えのないように…



36-B200 36-B300

自在錐バー

お問い合わせは、スターエム まで

<https://www.starminfo.com>

FAX 0120-0794-83